

上越地域「新之助」情報便 No.8

令和7年7月30日
上越農業普及指導センター

葉色低下の場合は出穂3日前追肥を施用

1 生育概況

- 葉色は穂肥施用の効果で維持されています。ただし、全量基肥施肥体系を含め、一部のほ場では淡くなっているところも見られます。
- 5月15日頃田植えの平坦地では、出穂期は8月6～8日頃の見込みです。

草丈：やや長い 茎数：並 葉数：やや早い 葉色：並

調査場所		田植日	草丈 (cm)	茎数 ㎡当たり(本)	葉数 (葉)	葉色 (SPAD)
＜平坦地指標＞			76	470	13.6	34.5
上越市下稲塚	平坦地	5月16日	81	526	14.3	34.3
大潟区吉崎	平坦地	5月15日	79	431	14.0	34.9
＜中山間指標＞			74	470	13.8	34.5
安塚区坊金	中山間	5月27日	63	482	13.9	33.0

2 今後の管理

- 今後も高温が予想されるため、出穂期3日前（かつ、2回目の穂肥から1週間後以降）に、止葉のひとつ下の葉の色（SPAD）が34未満の場合は、追肥を施用してください。
※ 施用時期は出穂期3日前です。窒素施用量は、化学肥料では1kg/10a以内、有機質100%肥料では2kg/10a以内とします。
- 出穂・開花期にかけては最も水を必要とする時期なので、地域の番水計画等を確認し、計画的に飽水管理を継続してください。
- 台風等の影響で乾燥した強風や極端な高温が予想される場合は、白穂等の発生を防ぐため早めにかん水しましょう。
- 葉いもちが発生しているほ場も見られます。安定生産のため、穂いもち防除は原則として実施してください。

※農作業中はこまめな休息や水分補給等の熱中症対策をしてください。

問い合わせ先 上越農業普及指導センター作物担当(電話025-526-9406)